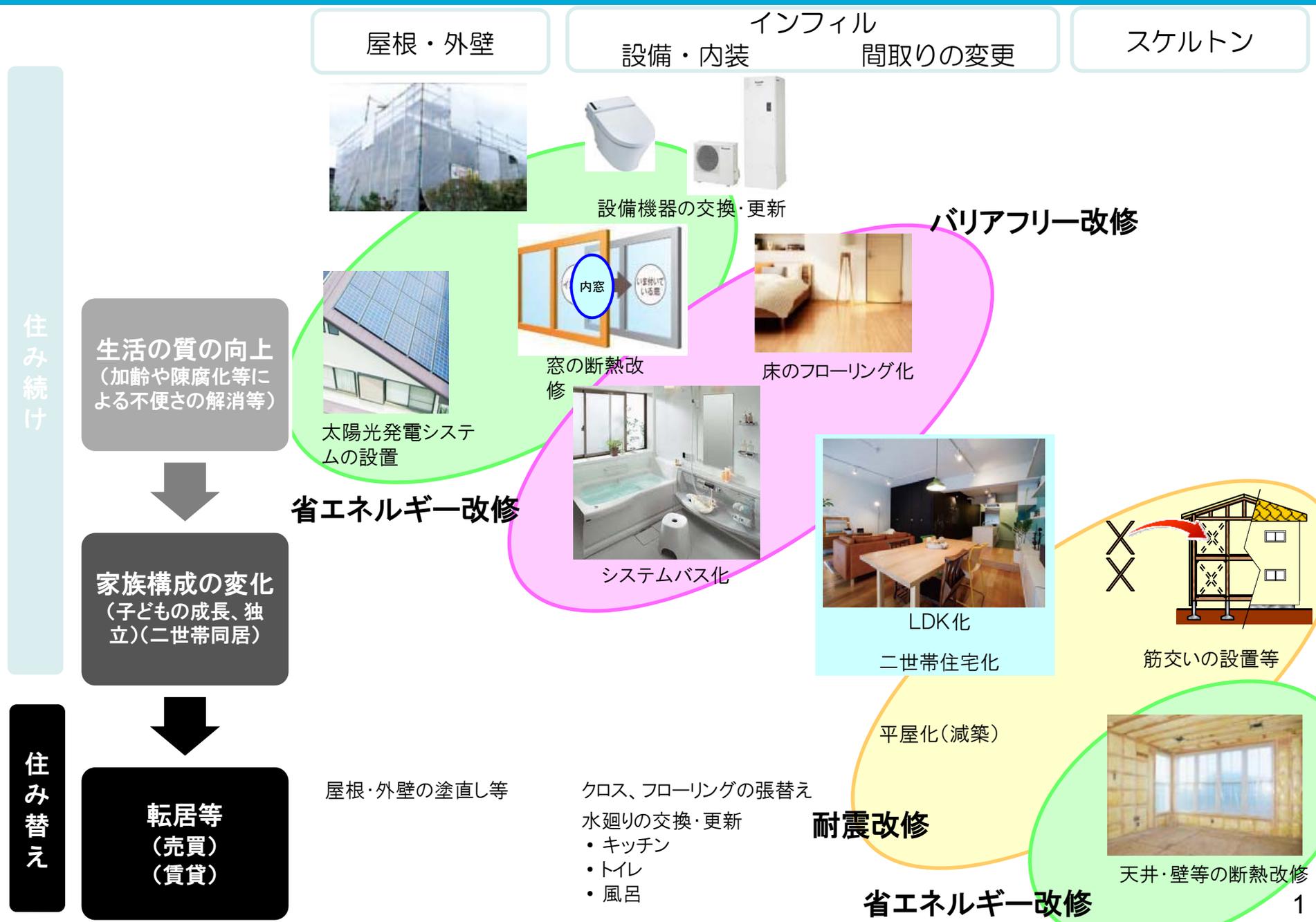


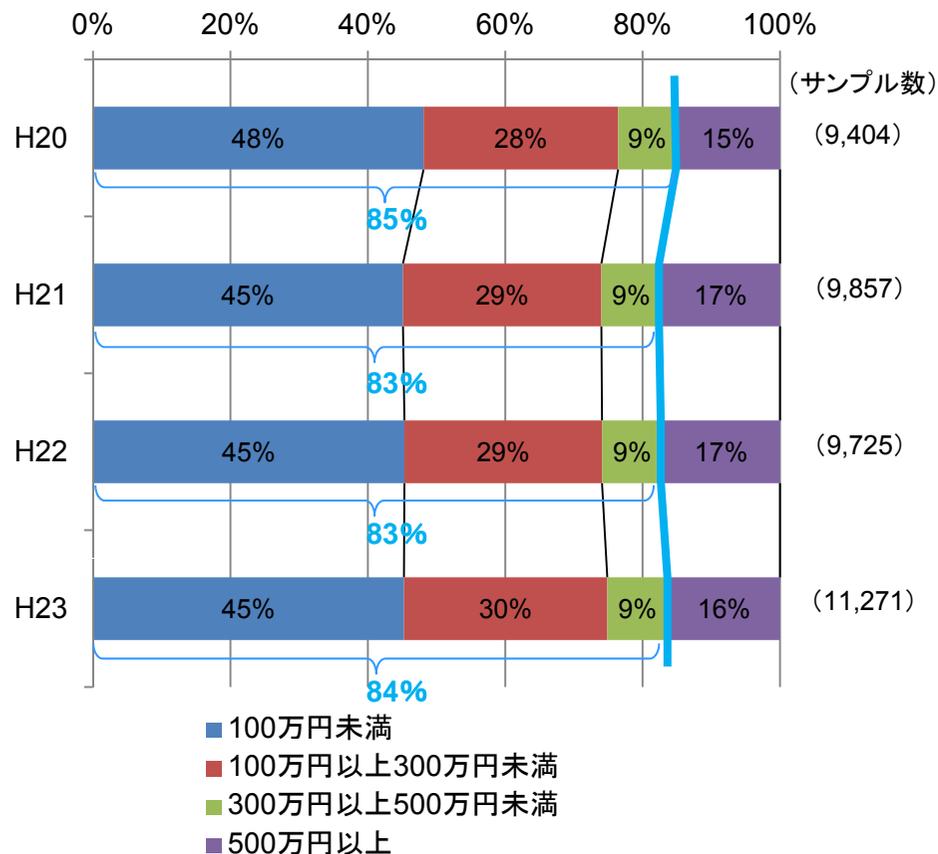
リフォームの特徴

リフォームの場面とその内容



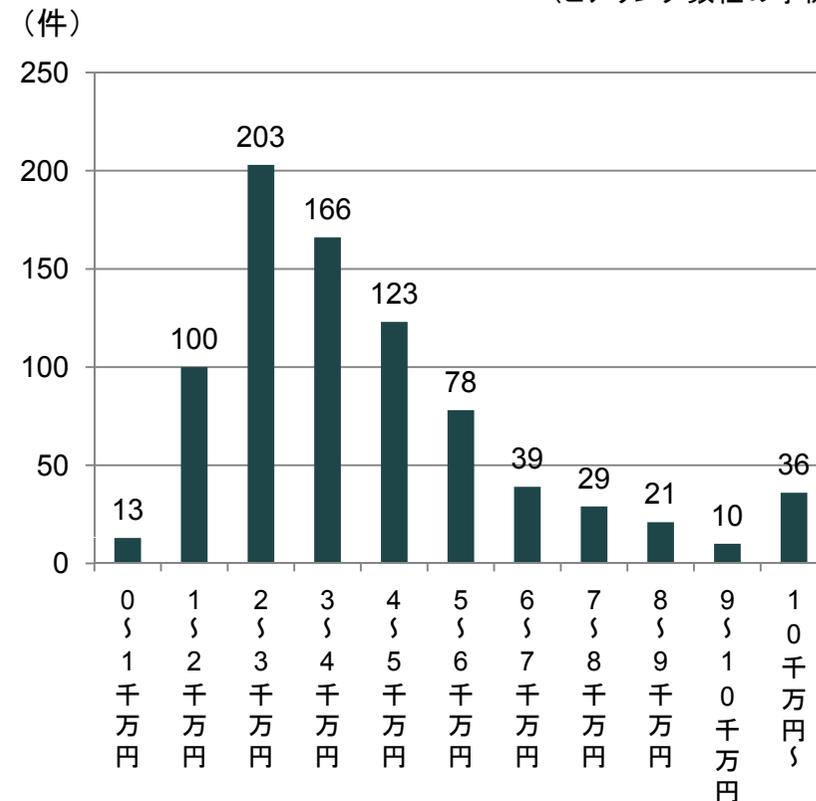
- ・住宅のリフォームは、小規模な工事ほど工事件数が多い傾向となっている。
500万円未満の工事は約8割、100万円未満の工事は約5割を占めている。
- ・共同住宅の共有部分で実施される大規模計画修繕工事（足場を建て行う外壁改修工事、塗装、防水工事など）について、大手企業に対して行ったヒアリングの結果、工事価格はほぼ1千万円を超え、1件当たり平均4千万円程度となっている。

リフォーム工事の価格帯



大規模修繕工事に要する費用(1件当たり)

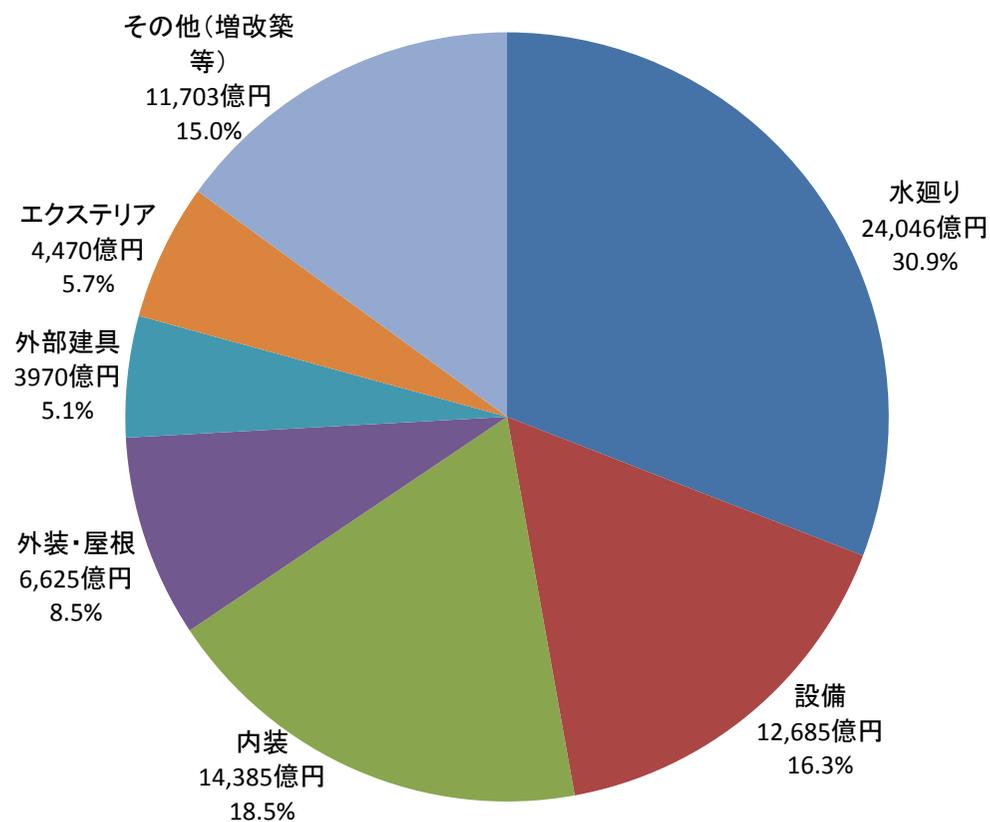
(ヒアリング数社の事例)



(出典)建築物リフォーム・リニューアル調査報告(国土交通省,2008~2011)

○ 平成24年度部位別市場規模と構成比について、水廻りの比率が最も高く、全体の30%以上を占めている。次に、内装が20%弱を占め、続いて、設備(16.3%)、外装・屋根(8.5%)となっている。

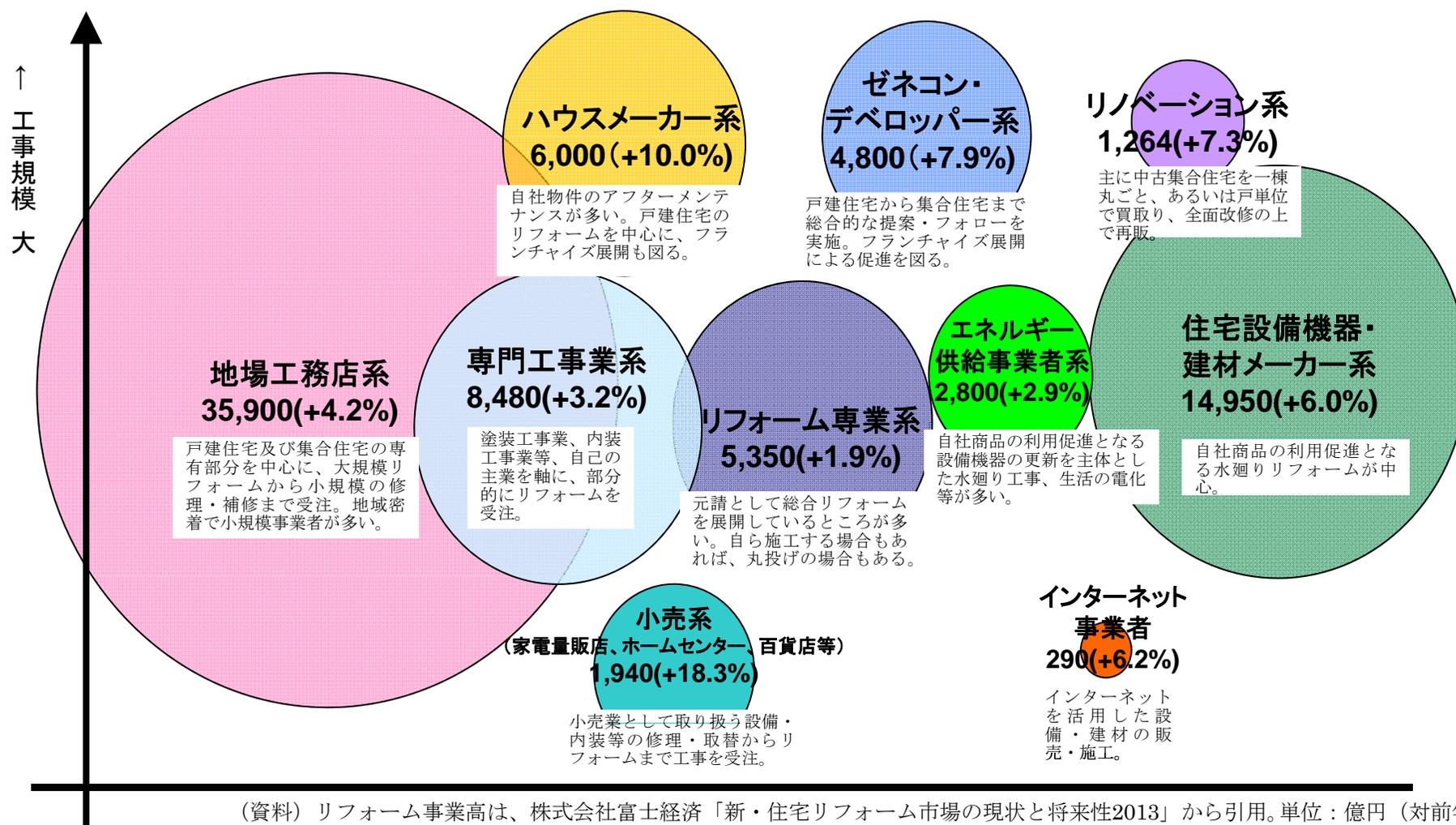
【 部位別市場規模と構成比】



(資料) 部位別市場規模は、株式会社富士経済「新・住宅リフォーム市場の現状と将来性2013」から引用。

主要なリフォーム事業者の分類と事業規模

- リフォーム事業の担い手は「地場工務店」・「設備・建材メーカー」が中心。新築住宅と比較して、小規模事業者によるシェアが大きいと考えられる。
- 前年に比べると、特に、ハウスメーカー系、小売系の事業高が増加している。



(資料) リフォーム事業高は、株式会社富士経済「新・住宅リフォーム市場の現状と将来性2013」から引用。単位：億円 (対前年比)